

大豆除草体系

★主な雑草体系

雑草は除草剤だけで完全に抑えることは困難です。大豆の生育を促し、大豆の葉が圃場全体を覆って遮光することにより雑草の発生を抑制することがポイントです。

そのため、除草剤と機械除草（中耕）の2段階で除草体系を組み立てましょう。

① 一般雑草体系

(10 a 当たり)

播種	5日以内	ラッソー乳剤	400mℓ
		トレファノサイド乳剤	200~300mℓ
		トレファノサイド粒剤2.5	4~5 kg
		ロロックス水和剤	150 g
		ロロックス粒剤	5~6 kg
		ラクサー乳剤	500~600mℓ
		エコトップ乳剤	500~600mℓ
		クリアターン細粒剤F	4~5 kg
		プロールプラス乳剤	400~600mℓ

播種後25~35日

播種後45~50日

中耕・培土
ダイズ
(2~4葉期)

中耕・培土
ダイズ
(6~7葉期)

② イネ科雑草優先畑体系

(10 a 当たり)

播種	20~25日	【ダイズ1~2葉期】	
		ナブ乳剤	150~200mℓ
		(ノビエ3~5葉期)	
		ポルトフロアブル	200~300mℓ
		(ノビエ3~10葉期)	

③ 機械除草体系

播種	15~20日	中耕：(ダイズ初生葉展開~1葉期) (株間に土が入るように)
----	--------	-----------------------------------

④ 上記①~③の補完体系

① 雑草茎葉散布 (広葉雑草優先)

播種	①・②・③の体系と同じ	大豆バサグラン液剤 (大豆2~6葉)
----	-------------	-----------------------

② 畦間雑草処理

播種	①・②・③の体系と同じ	畦間処理 (大豆8葉~) ザクサ液剤 (収穫28日前) ラウンドアップマックスロード (収穫前日)
----	-------------	---

③ 雑草茎葉兼土壌散布

播種	①・②・③の体系と同じ	ロロックス (大豆3葉~収穫30日前)
----	-------------	------------------------